

チリ経済情勢報告(2016年10月)

＜概要＞ 景気は停滞している。

- 消費は回復が見られる。
- 生産、企業マインドは悪化している。
- 失業率は悪化している。
- 消費者物価は安定している。
- 貿易は輸出の減少が続いている。
- 銅価格はやや回復し、為替はペロが強まっている。株価は回復している。

先行きについては、銅価格及び為替の動向が国内経済に与える影響に引き続き留意する必要がある。

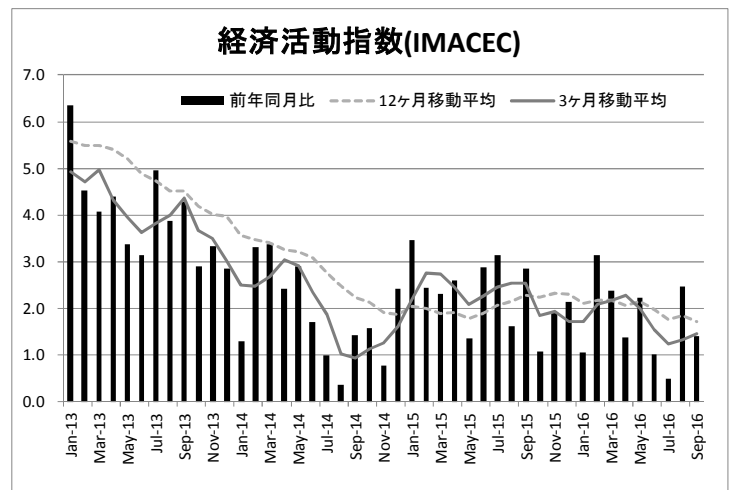
1. 経済指標

(1) 経済活動指数(IMACEC)－前年同月比1.4%－

9月のIMACECは前年同月比1.4%、季節調整済前月比は0.2%となった。中銀によると、鉱業以外の業種は1.9%の上昇を続ける中、鉱業が▲3.6%下落した。サービス業の好調を製造業と卸売業が相殺する形となった。

なお、季節調整済前月比では鉱業は1.2%、非鉱業部門は0.1%となった。

中銀アンケートによる11月のIMACECの予想は前年同月比1.5%(中央値)となっている。



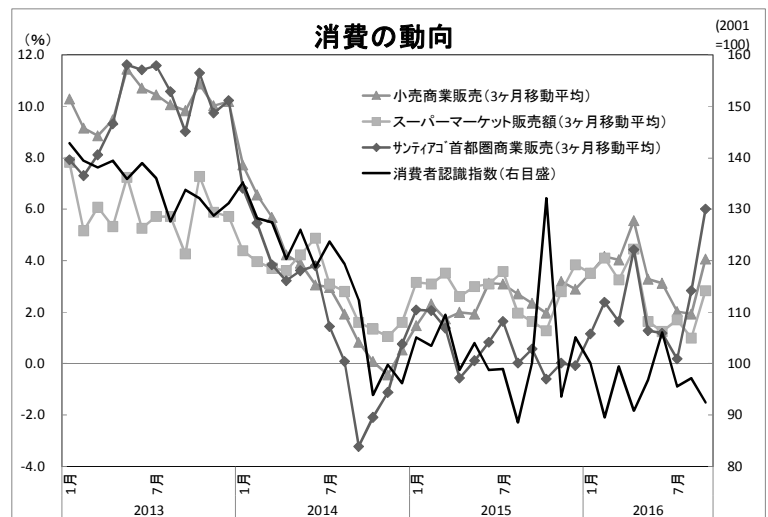
(2) 消費－回復が見られる－

① 9月の小売商業販売指数(実質, INE公表)は、前年同月比7.4%となった。同指数(除く車)は同6.7%となった。

② 9月のスーパーマーケット販売額(実質, INE公表)は、前年同月比5.4%となった。

③ 9月の商業販売額(チリ商工会議所公表, サンティアゴ首都圏, 暫定値)は、7.7%となった。

④ 9月の消費者認識指数(CIEN公表)は92.5と前月(97.1)から下落している。現状



指数は96.5(103.9), 将来指数は91.2(94.9)となり, やや改善している。

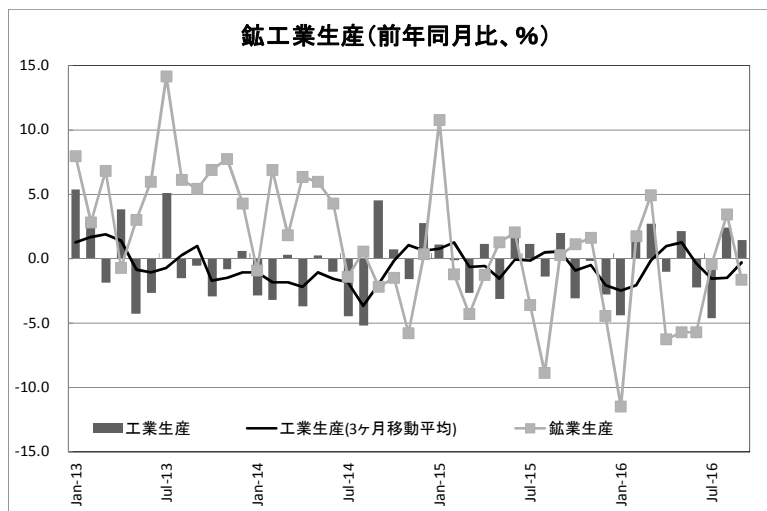
⑤ 8月の新車販売台数は32,377台(同12.9%)となった。

### (3) 鉱工業生産, 電力ー生産はやや弱いー

9月の工業生産指数は, 前年同月比1.4%となった。セクター別では出版・印刷業が同9.2%, 化学物製品が8.7%とプラスに寄与した一方, 家具・その他の製品が▲9.6%, 非金属鉱物製品が同▲9.4%のマイナスとなった。

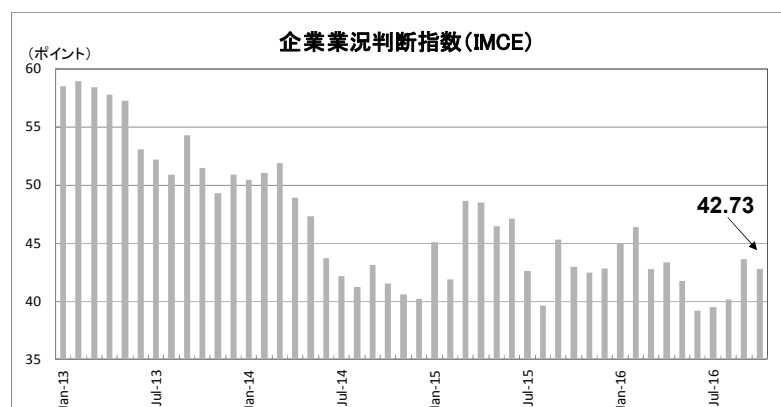
9月の鉱業生産指数は前年同月比▲1.6%となり, うち銅は同▲2.5%と再びマイナスの伸びとなった。

9月の電力指数は前年同月比0.3%となった。



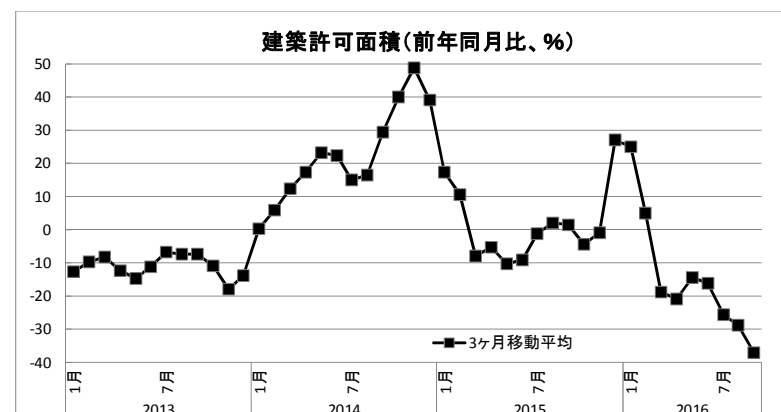
### (4) 企業の業況判断ー低調ー

9月のIMCE(企業業況判断指数)は42.73ポイントと, 先月に回復が見られる。前年同月差は3.45ポイント, 前月差は▲0.90ポイントとなった。内訳を見ると, 商業が49.53(同1.73ポイント)と製造業が44.04(同1.70ポイント)が回復を見せるのに対し, 鉱業が54.87(同▲8.28ポイント), 建設業が18.35(▲2.22ポイント)悪化した。



### (5) 不動産ー減少しているー

9月の建築許可面積(INE公表)は前年同月比▲36.9%(3か月移動平均)と引き続き下落が加速している。内訳を見ると, 住居が同▲46.4%が大幅な下落が続いており, 非住居も同▲13.3%となった。



### (6) 雇用ー悪化しているー

7~9月期の失業率は6.8%と先月よりは下落したものの, 高い傾向が続いている。前年同期比で見ると, 労働力人口は112,373人増加(前年同期比1.3%), 就業者数は76,663人増加(同1.0%)したが, 失業者数は35,710人(同6.5%)増加が続いている。セク

ター別の就業者数伸び率では、電気・ガス・水道（同13.0%）、ホテル・レストラン（同7.4%）で上昇する中、金融仲介業（同▲13.3%）及び鉱業（同▲12.6%）ではマイナスが続いている。

9月の賃金は、名目は前年同月比5.0%、実質は同1.9%となった。

### (7) 物価－安定している－

10月の消費者物価指数（総合）は、前月比は0.2%、前年同月比は2.8%となり、インフレターゲットよりも低い値となった。品目別に前年同月比の動きをみると、生鮮野菜果実（7.1%）、保健医療（5.2%）が上昇している一方、燃料（▲3.2%）、衣料品・靴（▲1.7%）と下落している。生鮮野菜果実及び燃料を除くコア指数は、前月比0.1%、前年同月比は3.0%となった。

中銀アンケートによる11月の消費者物価指数（総合）の予想は前月比0.3%となっている。インフレ期待は1年後：3.0%（前月3.1%）、2年後：3.0%（前月3.0%）と引き続き安定している。

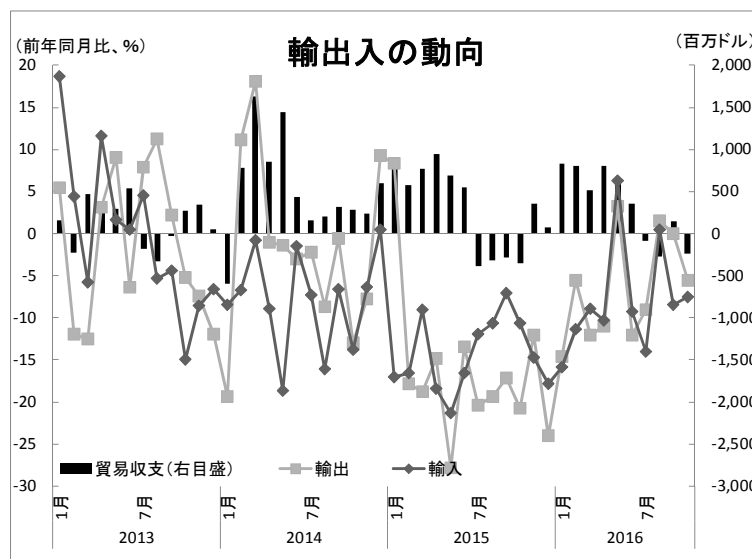
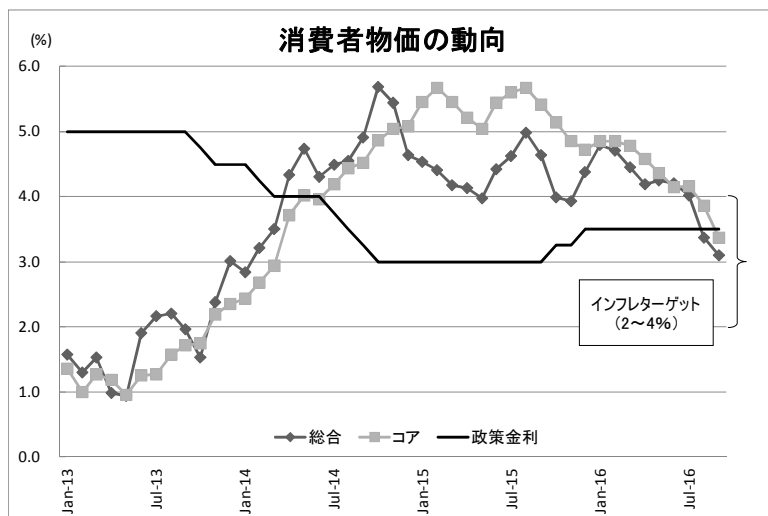
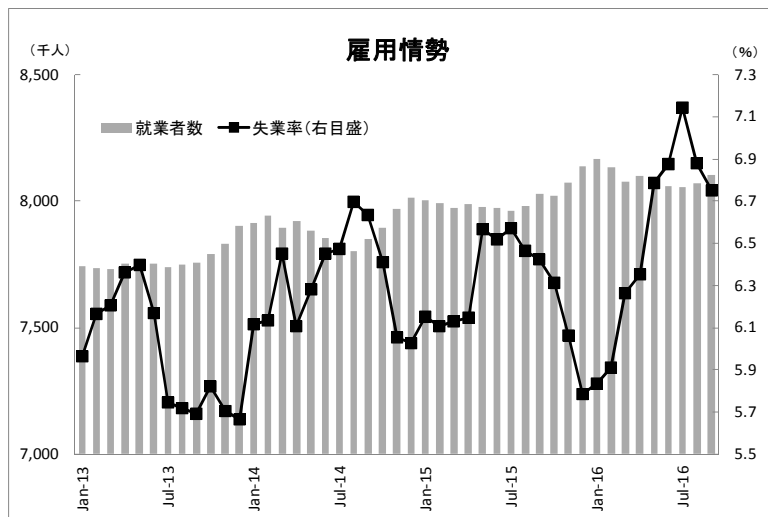
9月の生産者物価（全産業）は、前月比は▲0.4%、前年同月比は▲4.2%となった。農耕・牧畜（前年同月比13.9%）が上昇する中、鉱業（同▲7.2%）が下落している。

### (8) 貿易－輸出の減少が続いている－

① 10月の輸出額（FOB）は45.3億ドル（前年同月比▲5.6%）となった。内訳を見ると、鉱業品25.7億ドル（同0.7%）、農林水産品2.0億ドル（同19.3%）、製造業品19.1億ドル（同▲9.9%）となった。鉱業品のうち銅は21.6億ドル（同▲6.3%）、銅を除いた輸出総額は23.7億ドル（同▲4.8%）となった。

② 10月の輸入額（FOB）は47.6億ドル（前年同月比▲7.6%）となった。内訳（CIF）は、消費財16.5億ドル（同▲6.1%）、中間財24.5億ドル（同▲7.5%）、資本財9.6億ドル（同▲9.8%）となった。

③ 9月の貿易収支（FOB）は2.3億ドルの赤字となった。



## (9) 対日・中・韓貿易

① 対日貿易(FOB): 9月の貿易額は、輸出額3.2億ドル(前年同月比▲11.4%), 輸入額1.5億ドル(同▲28.7%), 貿易総額では4.7億ドル(同▲17.8%)となった。

② 対中貿易(FOB): 9月の貿易額は、輸出額14.2億ドル(前年同月比3.6%), 輸入額11.6億ドル(同▲9.9%), 貿易総額では25.8億ドル(同▲2.9%)となった。

③ 対韓貿易(FOB): 9月の貿易額は、輸出額2.8億ドル(前年同月比▲4.8%), 輸入額1.4億ドル(同▲3.3%), 貿易総額では4.2億ドル(同▲4.3%)となった。

## 2. 市場の動き

### (1) 国際銅価格—やや回復している—

10月の国際銅価格は、1ポンド2.1804ドル(3日)で始まり、月末には2.1897ドル(30日)と前月末比▲0.1%で終了した。

月初は米国と中国の強い経済指標と、銅鉱山閉鎖に伴う供給量の減少から、一時期価格が上昇したものの、後半から米国の大統領選に伴う為替市場の影響も受けて、じりじりと低下した。

10月の銅在庫は、542,858トン(1日)から488,655(30日)と前月末より増加した。



### (2) 為替—ペソが強くなっている—

10月の為替は、1ドル658.02ペソ(3日)で始まり、月末には651.65ペソ(30日)と前月末比▲7.43ペソとなった。

米国の強い経済指標を受けて、ドル高ペソ安で始まったが、世界的なドル価格の下落及び商品市況の好調から、ペソが強まる動きとなった。一方で、12月の米国の金利引上げと米国大統領選に対する期待から、ドル買いの動きも強まっている。



### (3) 株価—回復している—

10月のIPSA値(サンティアゴ主要株式指数)は4036.95ポイント(3日)で始まり、月末には4289.78ポイント(28日)となり、前月末比6.8%で終了した。特にエネルギー部門での上昇が目立ち、ブラジルの景気回復やチリの地方選挙ひいては来年の



大統領選挙に対する期待から株価が上昇した。

### 3. 経済トピックス

#### (1) チリ・ウルグアイFTA署名

チリは、メルコスール加盟国との経済関係の強化を進めているが、今般、ウルグアイとFTAを署名する。ウルグアイは、これでメルコスール加盟国でチリとFTAを締結する最初の国となる。チリ・ウルグアイ間の貿易総額は、349百万米ドル(2015年)。

パシフィコ大学のラモス教授は、チリ・ウルグアイ経済関係は、本署名を受けて、モノ・サービス貿易、原産地規則、植物検疫制度、環境等を含んだ二国間の貿易環境が整備されることを受けて、直接的な経済関係を構築することになると述べた。

ウルグアイにとって、本署名は、約5%の持続的な経済成長を遂げ、一人当たりGDPが16,350米ドル(2014年、世銀)となる中、財政的にも時宜を得ている。

#### (2) ラ米サービス貿易協会協議会の開催

ラ米サービス貿易協会協議会(ALES)の第6回協議会がチリにおいて初めて開催された。ALESは17カ国からの公的・民間機関で構成されており、ラ米地域における貿易・投資の拡大、ひいてはグローバルハブ化を目的としている。

会議に出席したバチェレ大統領は、近年はグローバル化、競争の加速化、天然資源への依存度の低下によって、ラ米地域の(潜在的)能力は危険にさらされている。サービス貿易が活発化する事で雇用が創出され、開発が進み、ジェンダー平等が達成されるだろうと述べた。

レボジェドDIRECON総局長は、サービスのグローバル貿易化は成長の為の高い可能性を秘めていると認識しており、この協議会開催中に様々な目に見える形のアクションを行う予定である。チリの世界への輸出の内15%を占める部門の代表者が集まるこの協議会をチリで開催することを誇りに思うと述べた。

#### (3) 果実生産者連盟会長の就任

チリ全国農業協会(SNA)元会長で、元在中国チリ大使のルイス・スチミッド氏が、1997年～2006年に既に会長であったチリ果実生産者連盟(FEDEFRUTA)会長に復帰する。「ス」会長は、FEDEFRUTA会長就任5ヶ月後に一身上の都合により辞職したラモン・アチュラ農業経営者の後任となった。

エル・メルクリオ紙とのインタビューで、「ス」会長は、FEDEFRUTAに復帰することで、果実部門に貢献と知識を提供でき、FEDEFRUTAに愛着を持っていると説明した。「(チリ人として)昔は米国と欧州の市場に参入するために努力したが、現在は異なる技術と季節を持つアジア市場へ移動した。そこでは私の経験で将来巨大な挑戦に直面する果実部門のために新たな道と機会の追求に貢献できる。」と述べた。

「ス」会長は、FEDEFRUTA設立者のフロレンシオ・ラソ氏と1998年～2000年にかけて「チリ・中国実験農場」の実施で中国市場へのチリ果実の参入に貢献した。実験農場の実施は、中国人がチリの果実生産の基準を理解できるという目的があり、中国との2005年FTAに係る農業問題解決の迅速化に貢献した。

また、「ス」会長は、FEDEFRUTAがこれから様々な挑戦に直面しなければならないと述べた。「私は、隣国が果実に関する激しい促進キャンペーンを通してチリ果実の位置を奪っているのを見たことがある。(従って)従来の方法を重複してはならず、技術と他の側面を取組まなければならない。」と説明し、「効率の良い新しい植物を生産しなければならない。更に、現在、新たな市場への参入及びその市場での新たな広告方法を探す必要がある。」と付け加えた。

#### (4) 世銀「Doing Business 2017」(チリは57位)

世銀の「Doing Business(ビジネス環境ランキング)」(2017年版)(25日発表)によれば、チリは190カ国のうち第57位(2016年、55位)。太平洋同盟の中では、メキシコ47位、コロンビア53位、ペルー54位で最下位となってしまった。

ランキングは、10の指標を基に判断されるが、チリが順位を落とした理由として、電力へのアクセス、建設許可の手続き、クレジットの供与、納税手続き、ビジネスの立ち上げ等でのマイナス評価を挙げている。一方、逆に評価を得たのは、契約の遵守、破産手続きの容易化である。

専門家によれば、チリが、ビジネス円滑化のための改革を行っていないことを指摘する。ランキングの対象国からは、過去1年間で、ビジネス環境整備のために実施した改革が全部で278件報告されているが、チリからは1件の報告も上がっていない。

チリ財務省のマクロ経済責任者は、チリは、引き続き、(中南米)地域では制度に透明性を有し、競争力を有する国である。なお、納税手続きについては、本年度改正を行うこととなっているとした。

#### (5) 中国の鉄鋼・鉄鋼品に対するAD措置

チリ財務省は、昨日、中国産の鉄鋼・鉄鋼品(円柱16mm以下)に対して、AD措置に基づき、関税を一時的に引上げることを決定した。暫定関税は、40.6%。上記の暫定措置は、最終決定がなされるまでで、今後4ヶ月間適用される。

#### (6) リチウム開発

ウィリアムス鉱業大臣は、チリ原子力エネルギー委員会(CCHEM)主催の「エネルギー資源としてのリチウム:南米の可能性」と題するセミナーに出席し、リチウムの開発に関する講演を行い、その中で以下のとおり述べた。

世界のリチウム埋蔵量のうち56%は、アルゼンチン(15.9%)、ボリビア(22%)及びチリ(18.3%)に存在しており、国際市場に対しては、(南米地域による)協働とそのシナジー効果により可能性が広がる。

リチウムは、次世代のエネルギーとして、気候変動問題に対処していく上ではクリーンエネルギーとしても期待され、かつ、戦略資源としてはチリにとってのポテンシャルである。

リチウムの開発については、その戦略づくりや技術面・法制面の検討は、非金属鉱物委員会に委託しているが、まず、地質的な情報の収集、環境・水質的な課題への対応、地域コミュニティとの対話の構築、アタカマ塩湖のモニターシステムの見直しなどが必要である。

また、リチウムの利権は(民間に)委譲しないという国策の下、国家自らが企業を通して開発を行うこととしている。開発は、この趣旨に賛同した投資家との官民協力で進められる。(チリ北部第3州の)マリクンガ及びペデルナレス塩湖のリチウム開発については、その契約のあり方等の検討をチリ開発公社(CORFO)に委託している。政府は、目下、数ヶ月以内に開発スキームを整備させるべく取り組んでいる。政府のプライオリティーは、より付加価値のあるリチウムを如何に国際市場に供給していくかである。

(以上)